

備える 3.11から 災前の策

第128回 家庭での備蓄



岐阜、愛知県を中心死者七千人以上を出した「八九一」明治三十四年の濃尾地震。マグニチュード(M)8.0の巨大地震を引き起こした根尾谷断層の震源地近くに暮らす高尾根尾(岐阜県本巣市根尾)は、再び起きるかもしれない有事で備え、食料を備蓄している。

1カ月分の食料用意

岐阜・根尾の宮脇さん

「最低一カ月分の食料用意」を目標に、根尾谷断層の震源地近くに暮らす高尾根尾(岐阜県本巣市根尾)の宮脇さん(57)は、再び起きるかもしれない有事で備え、食料を備蓄している。...



「足りない」に気づいて

三重の非常食推進機構 三重県四日市市の一般社団法人日本非常食推進機構は、本非常食「備蓄用」を普及している。...



「白い小箱」普及運動

「白い小箱」普及運動をする日本非常食推進機構の古谷賢治代表理事。...

死者が49人上った4月の熊本地震。避難所では食料や水を求める被災者の長い列ができ、備蓄の大切さをあらためて突きつけた。中部地方は国内有数の活断層集中地帯で、南海トラフ巨大地震だけでなく、熊本地震のような内陸型の地震がいっしょ起きてもおかしくない。家庭や自治体の備えが万全か、この機会にあらためて点検したい。(戸川祐馬、加藤隆士)

人手足りず 物資山積み

検証・熊本地震



被災者が山積みになった物資。2日、熊本市の臨時災害物資センターで。

プッシュ型支援 弱み露呈

熊本地震では、救済物資は熊本県内で届いた。問題はそこから先だった。集積地で物資が山積みとなり、仕分けの作業が追いつかなくなっている。...

民間の力を活用へ

トラック協会などと協定 熊本地震では、民間の力を活用して物資の輸送を円滑にする必要がある。...

まず家庭の備蓄重視を

奥村誠教授(交通計画) 被災者の手には、寄せられた物資が、行政の責任の下で届くまでには、時間がかかっている。...